

公園見学会 感想シートに対する区の現状について

第3回板橋区緑と公園の推進会議で実施した公園見学会の感想シートのご提出にご協力いただき、ありがとうございました。

皆さまからいただいた感想を別紙のとおり共有いたします。他の方の感想を見ることで、新たな発見もあると思いますので、お時間のある時にご覧いただきたいと思います。

また、皆さまから挙げていただいた「不便に感じた点」や「良くしてほしいと思った点」の中で、区の現状をお伝えできるものをピックアップいたしました。以下にまとめましたので、ご覧いただけましたら幸いです。

●防犯カメラがあると安心（赤塚しのがやと公園）

板橋区では、公園パトロールの業務委託を行う中で、パトロール業者に防犯カメラの設置、確認作業も委託しています。

防犯カメラについては、予算に限りがあることから全公園に設置することは難しい状況となっています。

基本的には設置要望が多い公園、死角になる場所がある公園、電源がとれるところ等、総合的に判断して設置しています。

- ・板橋区内の公園の防犯カメラ設置状況（令和5年12月時点）
30台設置（28公園）

●砂場に猫除けが欲しい（赤塚しのがやと公園）

板橋区には210か所の砂場が設置されており、そのうち猫等の糞害の多い公園21か所に猫除け柵を設置しています。

赤塚しのがやと公園は糞尿による被害が比較的少なく、柵の設置はしていませんが、砂の洗浄を行うなどお子さんが安心して遊べるよう、日常管理を行っております。

また、公園全体改修の際には、猫等の糞尿による汚染を防止し、砂場の衛生度の向上を図ることを目的として猫除け柵の設置を進めています。

●夜の明るさについて（赤塚しのがやと公園）

赤塚しのがやと公園については令和5年度に全ての公園灯のLED化を図りました。

改修に当たっては、主要な園路及び広場について、最低照度1ルクスを確保するように公園灯の配置を行っておりますが、樹木の枝等により部分的に暗くなる場合もあります。

気になる箇所がございましたら現地調査を行い、枝の剪定等の対応をいたしますので、ご連絡いただければと思います。

●親しみのある名称（赤塚しのがやと公園・上谷津公園）

公園の名称は、公園設置の告示に必要な情報です。名称の決定に当たっては、地元（多くが町会さんのようです）のご要望を伺っていますが、赤塚しのがやと公園や上谷津公園の名称決定の資料は確認できませんでした。

なお、電話で問い合わせいただく際に正式名称がわからず愛称名で伝えられることがあります。その時のために、区では愛称名の一覧を管理しており、110個程度の愛称名は把握しています。「タイヤ公園」と呼ばれている公園が5つある等、愛称名だけでは特定できない場合もあります。）

●ボール遊びを許容できないか、禁止事項が多い（赤塚しのがやと公園・上谷津公園）

東京都板橋区立公園条例の中で、公園内で一部の行為を制限しています。（右のとおり）

ボール遊びについては、条例には明記していませんが、「公園の管理に支障がある行為をすること」の中で制限しています。今後については、地元の理解を得ながら一定の遊びを認めていく方向で検討したいと考えております。

- (1) 公園の原状を変更し、又は用途外に使用すること。
- (2) 植物を採集し、又は損傷すること。
- (3) 鳥獣魚貝の類を捕獲若しくは殺傷し、又は放つこと。
- (4) 動物を連れ込むこと（規則で定める公園における犬の連込みを除く。）。
- (5) 危険な物を持ち込むこと。
- (6) 広告宣伝をすること。
- (7) 指定した場所以外の場所へ車等を乗り入れ、又はとめておくこと。
- (8) 立入禁止区域内に立ち入ること。
- (9) 公園内の土地又は物件を損壊すること。
- (10) ごみその他の汚物を捨てること。
- (11) たばこ（たばこ事業法（昭和59年法律第68号）第2条第3号に掲げる製造たばこであつて、同号に規定する喫煙用に供されるもの及び同法第38条第2項に規定する製造たばこ代用品をいう。）を燃焼させ、又は加熱することにより煙（蒸気を含む。）を発生させること。
- (12) 前各号のほか、公園の管理に支障がある行為をすること。

東京都板橋区立公園条例抜粋

●駐輪場があったほうがいい（赤塚しのがやと公園）

現状、全ての公園に駐輪場があるわけではなく、要望や駐輪スペースが確保できるかどうか等を検討して設置しております。

ただし、駐輪場を整備すると、公園を利用されていない方が自転車やバイクを停めてしまうという課題もあり、慎重に検討していく必要があります。

●おみやげグッズがあるといい（赤塚植物園）

現在、植物園の植物により親しんでいただけるよう、赤塚植物園の植物に関する書籍と絵葉書を販売しています。また、農業園で収穫し残った農作物を来園の方にお渡しすることもあり、来園者から大変好評いただいています。

いただいた貴重なご意見を参考にさせていただきながら、今後も様々なサービスを検討していきたいと思っております。

●集客するイベントをするといい（赤塚植物園）

現在、緑化啓発イベントとして5月に「グリーンフェスタ」、秋に「秋の自然体験 DAY」を実施しています。グリーンフェスタは毎年約2,000人の来園があり、参加型・体験型のイベントやクラシックコンサート、出張こども動物園、クイズラリー等を開催しており、幅広い年齢層の方にご参加いただいています。また秋の自然体験 DAY は事前申込制となっていますが、自然観察やクラフト体験、収穫体験等を行っており、毎年沢山の方にご応募いただいています。

今後もより多くの方に来園いただけるようなイベントを実施していきたいと思っております。

●自動販売機があるといい（赤塚しのがやと公園）

自動販売機の設置については、利用者からの要望の有無、民家等に隣接していないかなどの設置場所、ゴミのポイ捨てや不法投棄等環境の悪化につながらないか、売り上げが見込めて業者が設置してくれるかどうか等を検討して設置しています。

●ブランコが4基から2基に減っていつてしまっている（上谷津公園）

ブランコを改修する際には、「遊具の安全に関する規準」（2014年6月（一社）日本公園施設業協会）に合致したものを選定しています。この規準では、遊具の安全領域が定められており、これは子どもの「遊びの価値」を尊重しつつ、“重大事故を防止する”ことを目的として策定したもので、規準によると、昔の4基タイプのものと今の2基タイプのものはほぼ同じ規模になります。これが、ブランコの更新の際、4基タイプのものを設置できずに2基タイプのものになってしまう理由の一つとなっています。

●多目的トイレが欲しい（赤塚しのがやと公園）

公園トイレについては、「公園・公衆トイレの適正配置・改修計画」（平成28年2月）に基づき、老朽度や地域ごとのバリアフリー化率（改修率）を考慮し、年3か所程度改修を行っています。

赤塚しのがやと公園のトイレについては、平成4年に設置（RC造）したトイレで、他の公園トイレと比較すると築年数も低く、既に車いす対応となっているため、当面トイレの改築予定はございません。